

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは 市議会だよりです

2014年春号
(通算 No.188)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
[議員室] TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第1回 定例会

平成26年度予算5,767億7,502万円を可決

龍田西小建設事業や桜町地区再開発など

3月定例会市議会は、2月21日(金)から開催され129議案を可決・承認し、3月24日(月)に閉会しました。

予算案件では、一般、特別、企業会計予算案の39件を審議し、計5,767億7,502万円の予算を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,889億1,000万円、特別会計1,975億4,286万円、企業会計903億2,216万円となりました。

予算以外では、条例36件、人事7件、意見書4件、その他196件を可決しました。

幸山市長が重点6項目を説明

開会日、幸山市長は冒頭、「熊本城マラソン」や上海市で開催した「熊本港ポートセミナー」などを報告。また、重点事項としての6項目「挑戦元年アクションプランの推進」「地域経済活性化の推進」「防災・減災対策の推進」「着実な行財政改革の推進」「合併3町における新市基本計画の着実な推進」「第6次総合計画におけるまちづくりの重点事業」についての説明を行いました。

予算の主な事業内容は以下の通りです。

【総務部門】

- 防災情報伝達体制整備事業(3億3,070万円)
- 防災に関する啓発経費(2,785万円)

【企画振興部門】

- 総合行政情報システム最適化及び社会保障・税番号制度システム対応経費(13億3,340万円)
- 総合行政情報システム運営経費(10億9,722万円)

【健康福祉子ども部門】

- 生活保護費(279億2,800万円)
- 児童手当給付経費(125億7,400万円)
- 各種予防接種経費(18億3,931万円)
- 社会福祉事業団の自立化支援経費(3億・債務負担行為H27～H28年度6億3,500万円)
- 各種がん検診事業経費(3億9,758万円)
- 風しん検査等事業費(1,320万円)
- 生活保護受給者等就労・自立化支援プログラム推進事業(3,700万円)
- 保育士等処遇改善臨時特例事業(3億1,300万円)
- ひきこもり地域支援センター運営経費(1,312万円)

【環境部門】

- 大気汚染監視体制整備経費(9,770万円)
- 硝酸性窒素削減対策経費(1,950万円)
- 新西部環境工場・周辺環境整備費(21億1,860万円)

【農水商工部門】

- 企業立地促進事業(5億240万円)
- 地場企業



消防救急デジタル無線整備の予算がついた(写真は4月1日にスタートした南消防署)

雇用支援事業(3億7,430万円) ● U I J ターン就職促進経費(400万円) ● 植木地域農産物の駅建設事業関連経費(1,770万円) ● 城南地域物産館関係経費(2,285万円)

【観光文化交流部門】

- M I C E 関連事業経費(6,920万円)
- 熊本シティブランド戦略推進経費(5,150万円)
- 東アジア戦略推進経費(4,310万円)
- 城南町・植木町スポーツ施設整備事業(15億2,000万円)
- 新田原坂資料館整備事業(2億8,190万円)

【都市建設部門】

- 桜町地区再開発事業(6億8,450万円)
- 桜町・花畑周辺地区まちづくり推進経費(1,200万円)
- 下通A地区優良建築物等整備事業(2億4,680万円)
- バス乗換拠点改善調査経費(700万円)
- 地域生活交通確保関係経費(5,090万円)
- 新駅整備経費(4億8,000万円)

【消防部門】

- 消防救急デジタル無線整備経費(6億1,000万円)
- 北消防署建築事業(4億2,000万円)
- 車両整備経費(2億5,768万円)

【教育部門】

- 龍田西小建設事業(11億1,300万円)
- 特別支援学校建設事業(2,300万円)
- いじめ防止対策推進法関連経費(430万円)
- 天井落下防止対策経費(2,710万円)

【企業会計】

- 病院事業会計 ● 市民病院建替工事等整備事業(2億3,828万円)
- 水道事業・下水道事業会計 ● 水道施設整備事業(23億4,538万円)
- 第6次拡張事業(36億6,136万円)
- 下水道普及事業(58億7,300万円)
- 交通事業会計 ● 超低床電車購入経費(3億2,341万円)

【一般質問】

市民連合からは、東すみよ議員が登壇し、「教育委員会制度改革について」「政令市としての学校現場の改革に向けて」などについて、質問を行いました。

常任委員会 予算決算委員会 報告

総務委員会 田尻将博 西岡誠也

26年度一般会計予算では、新たに人事評価関連経費(新たな人事評価、システム、研修経費)、要綱・審査基準・処分基準公開事業(現在の基準の精査とホームページでの公開)が計上された。消防では5者体制に向けて北消防署の建設に4億2千万円と出張所の建設などの予算を計上。また、車両整備費としてパシゴ車や広軽車、救急車2台

などで2億4千5百万円を計上。このほか職員定数削減も提案されているが、非正規職員や民間委託業務が増加している現状は、市が率先して不安定雇用をつくり出している。第5次行財政改革にも、「12月議会での意見が、今回の内容に反映されているのか」との質問に明確な回答がなかったため、4月に改めて集中審議を行うことになった。

企画教育市民委員会 東上田 すみよ 芳裕

交通安全教育に関して、自転車法令が厳しくなったことを踏まえ、マナーの徹底はもちろん、団体賠償保険加入や、SD加入促進も併せて情報提供への要望がなされ、また情報システム最適化事業に関する予算は大まかことから、他都市との比較・調査による適正判断の有無が求められた。配備者暴力支援センターへの

予算措置は、昨今のDV被害の増大などから、状況把握に努め、DVネットワークによる対応が求められた。音楽教室・支援学級へのクーラー設置については、地場企業の受付拡大と全学級への設置が要望され、特別支援教育に携わる専門性の向上を図るため、免許保有率50%を目指すことが示された。

福祉子ども委員会 福永洋一

委員会では、補正予算案7件・予算案6件、条例案5件等の審議と、「東区児童死亡事例検証」等についての報告があった。予算関連では、ひきこもり対策として、各機関との連携強化や、障がい者の移動に関わるサービスの充実、政令指定都市会議での福祉事業の先進事例の把握と活用、福祉サービスの市民への広報の強化な

どを要望した。「東区児童死亡事例検証」の報告を受けて、今後このような悲しい事例が起きないように、各機関との更なる連携強化に努めること。特に、再発防止対策として、子どもたちが生活する地域の視点が欠けていると指摘し「地域との連携の必要性と、その具体策の検討」を要望した。

環境水道委員会 家入安弘

新西部環境工場建設は少数の反対意見が地元にあるが、継続して懇切丁寧な説明を行い、理解を得る努力を。また設置される還元施設は、可能な限り地元の要望を反映した施設にして欲しいとの要望が出された。26年度の市下水道事業会計予算で、想定より硬い岩盤を理由に工事が遅れている井戸川の浸

水対策策進事業は早期完成を。予算計上が複数の部署に分かれるPM2.5関連事業は、データ集約や責任の所在を明確化するため、予算の一括化の検討を。水道料金など公共料金の滞納整理は、回収可能な金額に対して、回収に要するコストが上回ると判断出来る場合は、不能欠損処理など柔軟な対応の検討を。

経済委員会 田辺正信

商工関係での主なものは企業誘致活動等に要する経費。農林水産関係では、新規就農者や農業後継者の育成支援、植木地域農産物の駅の建設経費、城南地域物産館の開館に伴う関係経費、競輪事業施設整備基金への積立金、MICE施設の整備などに伴う経費などで、執行部から説明を受けた後、質疑が行われた。

特に、MICE施設の整備に関連して、MICEの内容についての市民への説明が不十分、MICEへの疑問に答えて、市民のコンセンサスを得るべきだなどや、コンベンション施設の必要性についても出されるなど、多くの委員から意見が出された。また、東民百貨店等の雇用問題についても話し合いが行われた。

都市整備委員会 田上辰也

桜町・花畑地区再開発について、建設関係費の積算で現在は震災復興に加え東京オリンピック開催による建設関連需要の伸び等があり、予測は慎重に行ってもらいたい。「市道の認定について」は、近年、認定案件の増加が著しく、現在の人員体制では、開発行為の地の狭小道路の解消や、地域の生活道路として定着している私道の市道化への助言等、地域の

実情に即した周辺住民の利便性確保という重要課題に対応できていないと考えるので、今後、体制の充実・強化を求めたい。自転車走行空間整備については、長設の自転車専用レーンが狭路で使いづらいとの指摘も多いことから、今後の整備にあたっては、利用者や地元の意見を幅広く聴取するよう求めたい。以上のほか様々な意見要望を述べた。

採択された意見書

- 微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書
- 食の安全・安心の確立を求める意見書
- 災害時多目的船の導入を求める意見書
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における

取り組みへの支援を求める意見書
※今回、市民連合として「集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈を行わないことを求める意見書」と「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」を提出しましたが、不採択となりました。

みなさん
こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



ごあいさつ 会派「市民連合」の団長に就任。花畑桜町再開発事業関連予算を可決

政令指定都市3年目の春を迎えました。

第一回定例議会終了後の3月24日、私は所属する会派「市民連合」の団長に就任しました。市民連合は働く仲間を中心とした「連合熊本」と「民主・社民」の推薦議員8人で構成しています。

私は今期前半の副議長就任で党派・会派を超えた議会全般の仕事をしていただき、退任後は予算決算委員

会の副委員長に就任しています。

今回の団長就任は会派の要請であり、来年4月初の政令指定都市選挙区選挙を戦う大変重要な時期と重なり、議会運営・会派調整・議員連絡調整など、新たな活動を処理しながら議会発展に努力し続けます。

さて、3月定例議会は26年度の一般会計当初予算を含む129の全議案を可決同意しました。今議会は

「MICE議会」で、桜町地区再開発の関連予算経費約7億円の大半が、熊本桜町再開発準備会社が行う基本・実施設計に対する助成と、本市が計画する大規模集客施設(MICE)の設計も含まれており、再開発事業がスタートしました。中心市街地の活性化は10年近く調査議論を繰り返して、この3年間「中心市街地活性化特別委員会」

で議論され、再度会派代表で選出された委員でMICEに特化した協議がなされ、紆余曲折しながら大規模集客施設(MICE)を含む桜町・花畑地区の再開発となりました。

市民連合は当初から特別委員会へ委員長を送り、会派内で中心市街地の活性化について積極的に議論を続け、花畑・桜町再開発事業に対しては理解を示し賛成会派として取り組んでいます。

政令市熊本市は変わったか 行政業務委託化のスピード落とせ

政令指定都市移行から2年、各区の特徴を生かしたまちづくりが始まりました。私たちも政令市3年目にあたり、市民の立場で「政令市って何…」を検証し考えようではありませんか。

政令市になって、何がどう変わったか、身近な大区役所が誕生したが、市民サービスや要望陳情などスピードが向上したか、高齢社会への対応として、買物弱者、病院弱者等の交通弱者への対策など進んでいるのか、様々な意見や議論を交わし政令市熊本が誕生しました。

特に区役所職員による、まちづくりのアドバイスやアンケート作り、イベント、防災マップ、歴史や郷土文化の発掘など、地域と密着した活動に積極的に参加・参画され頼もしさを感じます。

しかし、土木などの要望陳情の相談、そして竣工スピードは予算が絡み、積み残しが多く出ているようです。

市民が役所や職員等に望むものは、職員の市民対応は市民の目の高さで対応していただきたいとの声があり、特に福祉行政での、職員対応で市民の苦情もよく聞きます。

次に、市民は「今お願いしたら…今実行していただきたい」との思いで役所に相談します。しかし、職員もルールが先行してすぐに回答は返ってこないのが現状です。市民の相談は「即実行」を望んでいますので、それなりの配慮と市民サービスを持って、積極的な接遇対策をお願いしたいものです。より良い接遇もより良い成果を生み出します。

私が所属する総務委員会では、本市

総務委員会報告



▲窓口にも臨時や非常勤職員が増加している。

の将来を企画する行政企画課、職員を管理する人事課、市民の命と財産を守る防災総室、消防局があり、前記で記載した「政令市になって何が変わったか、区役所が設置され、職員対応や行政サービスがどう変わったか」など、総務委員会で議論します。

また、行財政改革による職員の減員は限りなく進みます。その対策として市の業務の委託化や指定管理者導入などが、比例したように超スピードで職場を覆いつつあります。そして職員、嘱託員や臨時職員が混在する職場が多くなり、市民対応や業務処理が変わりつつあります。

委員会では常に、職員数の確保や業務委託の問題点など集中して議論します。政令市になって良かったと思われる市を目指して、総務委員会では今後も議論を続けます。

池上小学校の児童と龍づくり 味生の池の伝説でまちづくり

議員活動記

正月が過ぎ、地域の一大イベントである初午祭、池上小ふれあいフェスタ「味生祭」と小中高一般まで走る独鈷山クロスカントリー、梅林公園の梅まつりなど各種行事が続き、新年度を迎えます。私たちは地域があつてこそ活動が生まれます。特に今年度は校区まちづくり委員会と、池上小学校ドリムプロジェクト実行委員会合同での事業を展開しています。その事業は1300年前に存在した国指定史跡池辺寺遺構が4年間かけて整備事業が行われており、地域として整備事業への活動支援として、池辺寺に特化した事業を展開しています。既に昨年夏号で紹介しました「日帰り歴史探訪コース」や「西山山麓のジオラマ」建設など一歩一歩形となって進んでいます。今回は味生の池に住みついた2頭の龍に注目し、龍づくり事業を企画しました。

味生の池には悪霊の龍が住み、農民を苦しめ、その龍を退治し天へ追い払った池辺寺の住職の伝説があります。



その2頭の龍が天高く舞い上がる姿を、池上小学校東側校舎に取付ける事業を企画し、小学校と地域の共同制作で事業を行っています。龍の姿は全児童から募集し、その中から2頭の龍の形をモデルに造形することになりました。そして龍のウロコには全児童のクラス名と氏名を書き、タイムカプセルとして龍に取付けました。

龍は断熱材で加工し、その上からプラスチック加工し強度を増して、風水に耐える構造になります。

その2頭の龍は青龍と赤龍で全長が7mを超え、天に昇る姿を造形し8月下旬に取り付ける予定です。



市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ!

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市西区上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahirotagiri@tkz.bbq.jp

◆今の新市街が誕生して今年で百十一年を迎える。三代目の辛島格市長が明治三十年、軍用地「山崎練兵町」を商業の街にする構想を立て、陸軍と粘り強い交渉を進めて軍用地を移転させ、土地造成費用は市債を発行することで市議会の可決を得て工事に踏み切った。しかし、水害や恐慌、造成土地の売却など、苦難が続いたが構想から六年で新市街が誕生。以来百余年、繁華街として栄えてきたが、時代の変貌と共に様相は変化した。◆そこで中心市街地の活性化を図るために、桜町地区再開発構想が浮上した。市議会では「中心市街地活性化特別委員会」を設置して、これまで議論を重ねてきたし、関西地域の先進都市の視察もおこなってきた。第一回定例会(2月3日議会)でも活発な議論が交わされた。MICE(会議やコンベンションなどの意)に対応できる大型集客施設建設計画が提案されているが、市財政に影響を及ぼすという意見もある一方、新たな商業施設、パスターミナル、ホテルなどの整備により、国内外からの集客による活性化が見込まれるというビジョンも描かれている。◆政令市・熊本市の将来をどう築くのか、さらに市民が気軽に利用できる施設を、という声にも傾聴して議論を深め、決断をしていくことが市や議会に求められている。まさに百年の計ともなるだけに短兵急は避けたいものだ。